

堀内教授、学長に就任 新体制スタート



下山房雄前学長の退任を受けて、本学の堀内隆治教授(61才)が新学長に就任した。堀内教授は、九州大学経済学部、同大学院を修了後、本学に着任したが、それ以来、本学での教歴は33年に及ぶ。その間、「社会政策」の講義を主に担当する一方で、大学行政の面では、入試実行委員長、学生部長、産業文化研究所長、さらに大学院・経済学研究科の初代研究科長を歴任した。研究の面では、社会政策学会を主な舞台として活躍し、最近では、「地域」社会政策論の提唱によって知られている。

堀内新学長は、創立50周年を2年後に控えた本学にとって、初めての生え抜きの学長である。今年度、国立大学の独立行政法人化がスタートし、一部の公立大学もこれに続く動きがあるなど、18歳人口の一層の減少傾向を背景に、各大学の教育力を競う大学間競争はますます激化していくと思われる。新学長は、この多難な時代に学長に就任するに当たって、本誌前号で、よきコーディネーターとして「教職員、学生、市民の多元的な価値観を尊重し、自己責任に則り、公明正大な議論が保障される教授会自治を中心とした大学コミュニティを存続させたい」と述べている。新学長の就任に伴って、以下のような陣容で新執行部体制が発足したが、新学長を中心に、教職員・学生・市民が一体となった活力のある「大学コミュニティ」の存続・発展に向けて、全学的な一層の努力が期待される。

- ・大学院研究科長 木村 健二 教授
- ・学生部長 米田 昇平 教授
- ・教務部長 川本 忠雄 教授
- ・図書館長 西田 雅弘 教授
- ・産業文化研究所長 道盛 誠一 教授

人工芝テニスコート完成

正門を入って右手のバイク置き場横に、人工芝コート2



面が完成した。体育館横のクレイコートに代わる施設として建設されたもので、授業などに利用される。



523名の新入生を迎えて 2004年度入学式

4月8日(木)、第43回入学式が行われた。新入生は、経済学科229名(うち留学生3名)、国際商学科283名(同16名)、大学院11名の計523名である。このほか中国、韓国、オーストラリアからの交換留学生6名が出席した。式では、堀内新学長から「大学の原点は教師と学生の協同体であり、真理と向き合い、自己と向き合って、楽しみながら勉学に励んでほしい」と激励のメッセージがおくられた。これを受けて、学部新入生512名を代表して国際商学科の松井彰さん、学部留学生を代表して国際商学科の高基君、交換留学生を代表してクイーンズランド大学4年のPaul McGree君、大学院生を代表して国際ビジネスコミュニケーション専攻の藤井亮光君が、それぞれ誓いの言葉を述べた。また、浜田英嗣教授が、わが国の魚類養殖産業に関する優れた研究業績(漁業経済学会賞及び地域漁業学会賞を受賞)により研究奨励賞を、内山治道教授と中野琴代講師が、留学生教育および姉妹校などとの国際交流の推進に尽力した功績により大学奨励賞を、それぞれ柴田勝利同窓会会長より授与された。当日は晴天に恵まれ、平日にもかかわらず保護者の列席も多かった。吹奏楽部の演奏に続いて、新入生への応援団のエールによって式が終了すると、会場の外には大勢の在学生が待ちかまえ、いつもながらの、クラブ・サークルの勧誘合戦が繰り広げられた。なお、今年度の新入生は、以上のほかに編入学生7名(経済学科3名、国際商学科4名)を含めて、総計536名である。



2003 年度卒業式

2004年3月25日、第39回卒業式が挙行され、経済学部経済学科251名(総代・大山剛史君)、同国際商学科241名(総代・藤田泰子さん)に学士学位記が授与された。また、大学院経済学研究科経済システム専攻6名、同国際ビジネスコミュニケーション専攻4名(総代・古田美緒さん)に対し修士学位記が授与された。下山房雄学長の式辞と江島潔市長をはじめとする来賓各位からの祝いの言葉が述べられたあと、出発のことは卒業生総代・横崎典子(国際商学科)さん、留学生総代・宋麗さん、大学院経済学研究科総代・岡雅之君から述べられ、第19代文化会会長・岩迫陽志君から記念品が贈呈された。さらに吹奏楽部によって「IF WE HOLD ON TOGETHER」が演奏された後、応援団によって迫力ある応援歌とエールが送られた。

就職状況

◎平成15年度就職状況

厳しい就職環境にもかかわらず、平成16年3月末時点の就職内定率は男子90.9%、女子89.4%、全体で90.4%であった。過去10年間で一番高く、前年度実績と比較すれば、男子3.5ポイント、女子で0.5ポイント、全体で2.7ポイント伸びている。また、大学院に進学した者も多かった(本学の大学院へは4名進学)。その他に、公務員希望者をはじめとして専門学校へ進む者が目立って多くなっている。なお、近隣の大学と比べて、本学の就職内定率はかなり高いと言える。

◎平成16年度(採用)環境

平成16年度は、景気にやや回復の兆しが見られるものの、雇用環境は依然として厳しい。

採用活動の自由化(採用活動時期・内定時期・採用方法)が一層進み、就職活動の前倒し傾向が一般に強まっている。特色としては、即戦力を求める傾向が強まり、企業が人材を選別する目は一層厳しくなっている。通年採用や中途採用を実施する企業も増えている。また、企業概要をHPに載せるだけでなく、エントリーシートの請求やエントリーそのものをネット上で受け付けるなど、インターネットを採用活動に使用する企業がますます増加している。

◎平成16年度就職活動支援

①本学では、3年生から本格的な就職支援準備を開始する。外部講師による講演、学内就職委員の講話・面接指導、就職活動の心得などについて、年4回就職ガイダンスを開催する。

②就職委員の教員が、就職を希望する学生(約400人)と個人面談を行い、就職アドバイス、エントリーシートや履歴書の書き方等の指導を行う。

大学院の修士号11名に授与

経済社会システム専攻

- ・「医療費抑制策」批判
- ・地方自治体のマネジメントシステムについて——S市のISO14001(環境マネジメントシステム)導入活動からの一考察——
- ・住民監査請求の現代的課題——住民自治のより具体化のために——
- ・地域漁業における漁協機能の現状と課題——曾根漁協から養殖共販を事例として——
- ・環境効率性追求における企業間・地域間連携の必要性に関する研究
- ・養殖経営における生産履歴対応の課題に関する研究

国際ビジネスコミュニケーション専攻

- ・韓国の地域開発政策について——「済州国際自由都市」推進に関する一考察——(2003年9月修了)
- ・戦前期日本における家庭用ミシンの普及——生活者より見た耐久消費財の普及過程——
- ・中国・内モンゴル自治区フホト市の「引黄入呼」水利プロジェクト——水資源の持続可能な開発と利用への挑戦——
- ・日韓流通業の国際比較分析—小売業の業態変化を中心に—
- ・中国語検定準2級にみる教学上の問題

3月14日に2会場に分けて「修論発表会」を開催し、活発な議論が展開された。社会人以外の修了者の進路は、一般企業3名、博士後期課程進学2名、帰国1名、就職活動中1名である。(大学院研究科長 木村健二)

③公務員試験対策などのため、外部講師を招いて、経済原論・数的処理をはじめ、8科目135コマを開講する。また、就職試験対応として、公務員(国家公務員Ⅱ種・地方公務員上級・市町村吏員・警察官及び消防吏員・郵政一般・教職員)と一般企業向けに分けて、筆記による模擬試験及びSPI能力模擬試験等を、外部委託によって、年間14回程度実施する。

④学内企業研究会として、関連企業150社に依頼して、企業セミナーを開講する。

⑤就職委員が分担して、優良企業・市大OBの就職先等、約200社を目途に、求人依頼などの企業開拓を行って、その情報結果を学生の就職活動支援として役立てる。

⑦インターネット接続PCを、就職相談室に4台、学術センターに120台、コンピュータ室に40台設置し、就職情報の入手などに便宜を図っている。

(就職相談室: shusyoku@shimonoseki-cu.ac.jp)

⑧就職相談室での個別就職相談日時は、原則として、毎週(土日祝日を除く)9時から17時まで、就職委員が就職相談室に待機して相談に応じる。なお、上記日時以外においても教職員が適宜対応する。

平成16年度就職委員

就職委員長	佐々由宇 教授
就職副委員長	櫻木晋一 教授
就職委員	西戸隆義 助教授
就職委員	佐藤隆 助教授
就職委員	小笠原正志 助教授
就職委員	関野秀明 講師
就職委員	植田泰史 事務局長
就職委員	田嶋文子 次長補佐
就職委員	岡崎繁史 学生部主事
就職委員	中野武志 就職相談室長
就職委員	堂下邦江 就職相談員

入試状況

2004年度の入試では、例年通り、推薦入学、特別選抜(帰国子女、社会人、中国引揚者等子女、外国人留学生)、一般選抜、3年次編入学が実施された。志願者数を昨年度と比較すると、特別選抜、編入学は大幅に減少したが、全体としては、昨年度を大きく上回った。特に、2003年度に大幅に減少した経済学科の志願者が、前期日程、中期日程ともに増加した。大学院には27人の志願者があった。2004年度入試状況及び合格者出身校(留学生を除く)は以下の通りである。

2004年度入試状況

		学 科 (募集人員)	志願者	受験者	合格者	入学者	実質 倍率
一般選抜	前期日程	経 済 (60)	435	400	82	57	4.9
		国際商 (60)	328	291	99	69	2.9
	公立大学中期日程 (旧C日程)	経 済 (96)	1,681	1,055	332	102	3.2
		国際商 (96)	1,461	849	301	128	2.8
推薦入学	全 国	経 済 (31)	69	69	32	32	2.2
		国際商 (31)	87	87	36	36	2.4
	地 域	経 済 (33)	55	55	35	35	1.6
		国際商 (33)	48	48	33	33	1.5
特別選抜	帰国子女、社会人、 中国引揚者等子女	経 済 (5)	2	2	2	1	2.0
		国際商 (5)	2	2	2	1	1.0
	外国人留学生	経 済 (若干名)	14	13	5	3	2.6
		国際商 (若干名)	44	40	23	16	1.7
編入学	経済学科	(10)	25	24	6	3	4.0
	国際商学科	(10)	33	30	5	4	6.0
	経済社会システム専攻	(5)	6	5	2	2	2.5
	国際ビジネスコミュニケーション専攻	(5)	21	21	9	9	2.3

2004年度合格者出身校

[北海道] 室蘭清水丘 [青森] 弘前、弘前南 [茨城] 水戸第一、並木 [栃木] 真岡女子、大田原 [埼玉] 春日部共栄 [千葉] 佐原 [東京] 国際、目黒学院 [新潟] 長岡工業高専、松代 [富山] 富山中部、高岡西 [石川] 金沢桜丘、羽咋、星稜 [福井] 藤島、敦賀、北陸 [山梨] 都留、甲府西 [岐阜] 岐阜北、大垣北、斐太、可児、鶯谷、中京、高山西、帝京大学可児 [静岡] 清水南、藤枝東、長泉、静岡県西遠女子学園、浜松日体 [愛知] 中村、安城東、西尾、豊田西、新城東、豊丘、豊田北、高蔵寺、小牧南、豊田南、一宮興道、愛知、東邦、愛知啓成、愛知産業大学三河 [三重] 神戸、松阪、曉、鈴鹿 [滋賀] 八日市、守山、水口東、虎姫、光泉 [京都] 洛東、嵯峨野、北嵯峨、向陽、宮津、塔南、北稜、西乙訓、菟道、南陽、洛南、京都橘 [大阪] 桜塚、茨木、四條畷、高津、今宮、開明、初芝、浪速、梅花、近畿大学附属、清風、清風南海、追手門学院、帝塚山学院泉ヶ丘、初芝富田林 [兵庫] 神戸、長田、星陵、北須磨、舞子、芦屋(県立)、有馬、柏原、加古川東、小野、北条、三木、姫路東、姫路南、福崎、龍野、赤穂、佐用、山崎、姫路商業、宝塚西、相生、西宮東、琴丘、須磨東、姫路飾西、伊川谷北、北摂三田、三田西陵、姫路工業大学附属、兵庫県播磨、賢明女子学院、近畿大学附属豊岡、滝川第二、神戸国際 [奈良] 奈良大学附属、智辯学園 [和歌山] 星林、海南、日高、開智 [鳥取] 鳥取東、鳥取西、八頭、倉吉東、米子東、鳥取城北 [島根] 松江北、松江南、横田、出雲、大社、大田、浜田、益田、隠岐、松江東、松江西 [岡山] 岡山朝日、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山南、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、津山、津山東、玉野、玉島(県立)、笠岡、笠岡商業、井原、総社、高梁、新見、瀬戸、矢掛、林野、岡山一宮、倉敷古城池、玉野光南、岡山城東、山陽女子、就実、岡山理科大学附属、清心女子、金光学園、

岡山白陵、岡山、吉備高原学園 [広島] 広島大学附属、広島大学附属福山、広島国泰寺、広島皆実、海田、廿日市、安古市、尾道東、尾道北、三原、世羅、福山誠之館、府中、大門、福山明王台、西城紫水、舟入、基町、高陽、広島井口、神辺旭、祇園北、沼田、美鈴が丘、崇徳、安田女子、比治山女子、鈴峯女子、山陽女子、豊進、銀河学院、近畿大学附属東広島 [山口] 岩国、光、下松、徳山商業、防府、防府商業、山口、山口中央、宇部中央、小野田、厚狭、田部、豊浦、長府、下関西、下関南、下関第一、下関中央工業、下関工業、豊北、大津、萩、下関商業、警、西京、高水、野田学園、香川、梅光女学院、早鞆 [徳島] 城南、城北、富岡東、富岡西、鳴門、脇町、池田、徳島市立、城ノ内 [香川] 三本松、津田、丸亀、観音寺第一、高松西、高松北、高松桜井、三木、香川県大手前、尽誠学園、香川誠陵 [愛媛] 三島、新居浜東、新居浜西、西条、丹原、今治西、松山東、松山西、松山南、松山北、松山商業、大洲、松山中央、新田、愛光 [高知] 高知追手前、土佐女子、高知学芸、明徳義塾 [福岡] 豊津、京都、門司、大里、小倉南、小倉商業、小倉、小倉西、北九州、戸畑、若松、八幡、八幡中央、東筑、遠賀、宗像、新宮、福岡、福岡中央、城南、筑紫、久留米、伝習館、山門、三池、牟田北、八女、田川、嘉穂、嘉穂東、鞍手、戸畑商業、北筑、春日、小倉東、中間、光陵、筑前、須恵、小郡、香住丘、玄海、慶成、鎮西敬愛、常磐、東筑紫学園、九州国際大学附属、福岡大学附属大濠、西南学院、福岡舞鶴、大牟田、東海大学第五、中村学園三陽 [佐賀] 佐賀西、佐賀北、佐賀東、唐津東、唐津西、伊万里、小城、武雄、鹿島、白石、致遠館 [長崎] 長崎西、佐世保南、佐世保北、佐世保西、大村、諫早、島原、口加、川棚、五島、上五島、対馬、長崎北陽台、西陵、長崎日本大学 [熊本] 熊本、第一、第二、熊本西、熊本商業、玉名、菊池、宇土、八代、天草、熊本北、東稜、文徳 [大分] 別府鶴見丘、別府青山、大分舞鶴、大分鶴崎、臼杵、佐伯鶴城、竹田、森、日田、中津南、中津北、宇佐、大分南、別府羽室台、大分豊府、大分東明 [宮崎] 高千穂、延岡、延岡西、日向、宮崎西、日南、福島、都城泉ヶ丘、都城西、小林、宮崎北、宮崎日本大学、鶴翔 [鹿児島] 鶴丸、甲南、鹿児島中央、指宿、加世田、川辺、伊集院、川内、出水、国分、鹿屋、種子島、鹿児島玉龍、樟南 [沖縄] 那覇、開邦、沖縄尚学

31人の留学生が入学



今年度、31人の留学生を新たに迎えた。学部入学生が19人(韓国2人、中国17人)、姉妹校からの派遣学生が6人(グリフィス大学とクイーンズランド大学各1人、東義大学と青島大学各2人)、科目等履修生が1人(中国)、大学院が5人(中国)である。5月7日、盛大に歓迎会が催された。

退任教員挨拶

最後に再度言うておこう

小林 英 治

私は2000年4月から、大学院の設置に伴って本学に赴任し、大学院および学部において開発途上国論やアジア経済論などを講じた。友好交流校である韓国の東義大学と中国の青島大学にも出かけて講義と研究を行った。その間私の講義を熱心に聴いてくれた学生諸君およびゼミ生の皆さんに感謝したい。同僚の教員および職員の皆様にも助けられて下関における生活は快適なものであった。

これ以上過去を振り返るよりも未来を見つめよう。これからのわが国および国民を取り巻く環境は厳しさを増すことが予想される。その試練を乗り越えるにはどうするか。ゼミや講義の中で繰り返してきたことを再度言うておきたい。次の二点である。

第一は、近隣のアジアの国々や人々との関係を大切にしたいということ。明治以来のわが国の発展の歴史の中で、私たちは西欧諸国に目を向け学んできた。それはそれで意義のあることであった。しかし、今後はアジア諸国を真の隣人として強固な関係を作り上げていかねばならない。アジアの国々との FTA（自由貿易協定）交渉が始まり、協定締結により、彼らとの経済的関係は一層深まろう。学生諸君、中国や韓国、フィリピン、インドネシアなどの動向に理解を深め、あなた自身に何が出来るか考えてみよう。

第二は、在学中に英語とアジアの文化をマスターしよう。ただ漫然と学ぶだけでなく、実際に使えるようにしなければいけない。これは諸君の努力によって必ずできることであり、外国語を通じてあなたの視野が広がり、一生の財産となろう。中国や韓国の学生たちの外国語習得への努力と執念にはすごいものがあることを付け加えて置く。

以上を学ぶには下関市立大学は絶好の場であることを忘れずに。成功を祈る。(e-kobay@r8.dion.ne.jp)

下関市立大学8年間の思い出

財 部 忠 夫

平成8年4月1日、満開の桜の下、下関市立大学の教官としての辞令を大屋学長より頂戴した。それまで、32年間、民間企業の情報システム部門および子会社での実務業界から、はじめての教職業への転身の時であった。それまで、8年間の関東学院大学での非常勤講師の経験はあったものの、専任教師としては初めてで、不安と期待をもっての赴任でした。

その時から、早くも8年が過ぎてしまいました。長いようで本当に短い8年間でした。最初の3年ゼミ生は、23名の大手で、新鮮な感じでゼミを開始しました。徳地・自然の森、萩青年の家でのゼミ合宿、日産自動車・荻田工場見学、そして、湯布院、黒川温泉へのゼミ旅行など、ゼミ生と共に学び、共に学んだ記憶が走馬灯のように思い出されてきます。また、学生部長として、平成10年から12年の2年間も非常に貴重な経験でした。新任の下山学長ともども大学の運営業務とともにできたことを感謝いたしております。学生部の仕事は、良い話は少なく、トラブル処理の連続でしたが、今思えば楽しい思い出です。それから、ネットワークシステム運営委員会の仕事として、「学内 LAN の整備とインターネットへの接続」に関与できたのも、思い出深い経験でした。今、IT 社会、インターネット社会といわれ、インターネットの活用は当たり前のこととなりましたが、その礎づくりに貢献できたことに感

謝いたしております。定年まで2年を残しこの下関市立大学を去るのは、少し心残りでしたが、これから、新赴任の中村学園大学で頑張りたいと思っています。皆様のご健勝をお祈りいたします。

下関市立大学を退職するにあたって

金 尾 敏 寛

下関市立大学には1979年4月より25年間勤務しました。この間、教職員の皆様のご厚情には感謝致します。とくに学生諸君との交流や軟式野球部顧問として野球部諸君の真摯な活動に取り組む姿勢と情熱から、多くを学び自分自身が育てられました。

大学からは国内研修と3回の海外研修（イギリスと非公式の研修も含むオーストラリア）の機会が与えられました。国内研修の成果としては著書『現代経済の動学』（学文社）を刊行しました。海外研修中の3回の海外での学会発表は実に有意義でした。これらの成果によって、父兄後援会から1996年度学術図書刊行費助成金を受けた『価格・資金調達と分配の理論』（日本経済評論社）が刊行されました。

また、イギリスへの研修の数年前から栗口眞一郎先生（現北九州市立大学教授）とともに始めた毎週1度の英語での discussion は帰国後さらに活発になり、海外経験豊かな市民の方々が多く参加されるようになりました。栗口先生と英語を通じての市民との交流は実に楽しく、多くのことを学んだ10年間でした。これは地域に根ざした大学から得た大きな財産です。

下関市立大学は千葉工業大学から数えると3校目ですが、教師としても研究者としても自分はこの大学によって大きく育てられました。しかし自分は未だ研究上の通過点に在るにすぎず、今後も新たな研究に挑戦しつづけていくつもりです。

私の立場はこれまでとは異なり、大学を外から眺めることになりました。堀内新学長のもと教育・研究のより充実した市立大学の特色を生かした大学として、その存在価値を益々高めていただきたいと願っています。

またお会いしましょう

青島大学 于 華

一年の任期は、あっという間に過ぎてしまいました。この一年を振り返ると、ちょっとしたものでも思い出になるものがたくさんあります。下関の人情や風景は、わたしにとってとても素晴らしい体験となりました。学生との交流や市民の方々との交流は、大変楽しいものでした。

下山房雄学長はお忙しい中、自らが車を運転され、わたしと徐先生を土井ヶ浜人類ミュージアムまで連れて行ってくださり、楊貴妃のお墓なども見学しました。そこで中国文化とのつながりを感じさせられました。ほかの先生方にも、最大限のおもてなしをしていただきましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。春にはわたしと二名の交換留学生を花見に連れて行っていただいたり、冬は、登山などもしてきました。それらの小旅行はいつも非常に楽しく、忘れがたい思い出を私たちに残してくれました。

仕事においては、事務局の方々には、大変お世話になり、この場をお借りして、大学の皆様にも心より感謝の意を表します。この一年、順調に過ごせたのは、全て皆様のご協力によるものです。

市民の方々の熱いおもてなしも忘れがたいものとなりました。彼らは、中国文化に対する深い愛情と中国人に対する友好を持っており、日本文化の素晴らしい面をわたしに

見せてくださいました。これらのすべてのことが将来きときさまざまな異なる形で現われるでしょう。わたしは日本を離れても、ここで得たものは心の中に残り、帰国してそれをいかしてがんばります。みなさんとの再会を楽しみにしています。

再見、下関市立大学

青島大学 徐 修 徳

下関市立大学での研究生活が始まったのは2003年11月10日のことでした。4ヶ月あまりに、大勢の方と知り合い、沢山の思い出が出来て、良かったと思います。私の研究も順調に進み、毎日楽しく、充実した日々が過ごせました。大学の関係者には大変お世話になり、心から感謝しております。

そしてまた、先生方との再会は何よりも喜びでした。木下悦二先生との再会は香椎駅近くの喫茶店でした。81歳の先生の元気な姿を見て、心から嬉しく思いました。「先生は今でも魚釣りをしますか」と聞いたら、「誰も相手にしてくれないよ」と淋しそうに言いました。

新任教員挨拶

松 本 義 之



平成16年4月1日から、国際商学科の経営情報論・データベースの担当教官として、下関市立大学に着任しました。これまで、経営意思決定問題・ファジィデータベースなどの研究を行ってきました。

現在は、主に複雑系経済時系列予測などについての研究を行っています。最近、経済・経営の問題は、ますます複雑化しています。また、コンピュータシステムも多機能化し、人に扱いにくいシステムが増えてきています。そこで、これらに対処するため、ソフトコンピューティングなどの技法を使用し、人に優しく堅牢な経営情報システム構築のための研究を行っていきたく考えています。また、本学の学生にも、ゼミ・授業を通じて、これらの問題と一緒に考えていって欲しいと思います。

まだまだ若輩で、本学の教職員の皆様にも色々ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

溝 渕 彰



4月より本学に着任致しました溝渕彰と申します。これまで、法律の中でも商法、とりわけ会社に関する法律を取り扱う会社法を中心として研究をして参りました。最近では、もっぱらコーポレート・ファイナンスの観点から会社法を分析することを中心に研究を進めています。中でもインセンティブ報酬に関する研究を行っています。具体的には、インセンティブ報酬を企業が採用することによって企業経営の効率性、ひいては企業価値の最大化にどのような効果があるのか。インセンティブ報酬が企業価値の最大化に役立つとしても経営者と一般従業員との間の所得格差による弊害について法はどのような規制を行うべきか。このような問題点について研究を行っております。

私の生まれは香川県の多度津町という人口二万人程の町で、大学生になるまでここで過ごしました。その後、関西の大学に進学し、以降本学に着任するまでの間ずっと関西

大屋祐雪先生との再会は博多駅の近くのホテルでした。大学を離れて既に8年が過ぎますが、青島大学との交流について、興味深い話が出来ました。私の研究についてもいろいろ聞かれました。後日、私は自分が書いた論文を先生に送りました。すると、先生からその論文に対するコメントを頂き、驚きました。「ありがとう」と心の中で言いました。

下山房雄先生と初めに会ったのは青島でした。青島市の琅琊台は、秦の始皇帝に命じられて、徐福が不老長寿の薬を求める旅に出た出発地だそうです。5年前、下山房雄先生と一緒に琅琊台に登り、また琅琊山の麓の「琅琊台製酒工場」で、一緒に72度の徐福酒を飲んで、盛り上がったことを今でも覚えています。この度、下山先生から案内していただき、萩、秋吉台、土井ヶ浜人類遺跡、楊貴妃のお墓などを見学しました。日本の美しい自然はもちろん、中国と日本との関わりへの深さも実感しました。

そしてまた、沢山の方々との再会して、楽しい思い出が出来ました。どうも、ありがとう。さようなら、下関、さようなら、下関市立大学。

で過ごしました。下関に来るのはこれが初めてなのですが、歴史上有名なところであるという強い印象を持っています。特に、幕末・明治維新にかけて、下関が重要な場所として歴史に名を残したことは今さら言うまでもないことでありましょう。このような歴史上名高い下関についての知識・教養を深め、研究に活かしたいとも考えております。

新任の教員で分からないことも多々あると思います。教職員の皆様方、ご指導、ご鞭撻何卒宜しくお願い申し上げます。また、学生の皆さん、皆さんとは比較的？年も近いので、皆さんと同じ目線に立った教育ができるかなとも思っています。よろしくお願いします。

松 田 潤 治



今年度から本学の教員として着任と同時に下関市民となりました。学部の講義は簿記原理や会計学原理等を担当いたします。専門は会計学の中でも会計情報論、会計情報システム論であり、企業の存立を支える法体系との係

わりにおいて会計を研究する「制度会計」と会計情報の利用者の意思決定に役立つ会計情報である「情報利用者指向的会計—会計情報」の両側面から研究する立場をとっています。簿記原理や会計学原理は、商業簿記や簿記論そして会計とネーミングを異にしています。例えば簿記原理にしても、検定試験に合格することよりも、複式簿記の基本原理としての二元性の原理、さらには個別資本の運動を写像する技術としての簿記を学生と共に学んで行きたいと思っています。6年前、そして昨年度、非常勤講師として会計学関連科目を担当しました。真摯に講義を聴いてくれた学生の姿が印象に残っています。私はこれまで、学部の新設（中村学園大学流通科学部）や学科の新設（宇部高専経営情報学科、九州国際大学国際商学部アジア共生学科）に携わってきました。今後は学生諸君と共に学びあう時間を1時間でも多く取りたいと考えています。また同時に市民の方々との交流も楽しみにしています。市大の先生方は、学長先生をはじめ、諸先生方大変アカデミックで親切であられるという印象を持たせていただいております。今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。新任の挨拶といたします。

新任教員挨拶

桜花盛開時

張 淑 玲



桜という花を言うとき日本のイメージが湧いてきます。ついこの間、桜が咲き始めようとしている時に、下関に参りました。市大の研究室の机に向かうと、真正面のテニスコートの道沿いに何本かの桜の木が見えますが、その桜の花の形が揃って、一斉に咲いているのを見て感動いたしました。中国の青島にいた時には公園へ足を運ばないと見られなかった素晴らしい風景、それから学内の立派な教室、きれいな図書館、勉強や研究にとってもいい環境に恵まれている市大の先生方、学生たちの姿を見て、羨ましくてたまりません。

中国では約5年前から教育部の方針で、ほぼ同じように毎年20%大学生の数が減っています。その結果、教室が足りなくなり、大人数で授業をすることになりました。学生たちはなるべく黒板に近い席に座ろうと、我先に喧嘩になりそうな勢いで教室に入ってきて、激しい席取り合戦を行っています。市大の学生のみならず、中国の学生に負けないう、毎時間授業を大事にし、しっかり勉強しましょう。

これから周りの優しい方々に支えられながら、学生たちのきらきらとしている目に応じて、頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

~~~~~

## 教養総合講座始まる

## コミュニティとコミュニケーション



市民と学生がともに学ぶ教養総合講座が、4月12日から始まりました。1993年に開始されたこの講座も数えて12回目。今年度は、総合テーマを「コミュニティ&コミュニケーション——下関市立大学が目指すもの」と題して、7月12日まで毎週月曜日の5時限目に開講される。

講座の前半は、我々の生活の場である「コミュニティ」をテーマとして、様々な角度からそこに孕まれている問題点や可能性に迫っていく。後半は、日常的な人間関係にはじまり国際間の文化的・人的交流にまで及ぶ「コミュニケーション」の問題を取り上げる。

今年度は、13回の授業全てを本学の教員が担当するが、それは総合テーマが本学の教育・研究の根幹に関わっているからにはかならない。副題に「下関市立大学が目指すもの」とあるのも、そうした理由による。本学の教員が、それぞれの専門の立場から、いったい如何なる切り口でこの総合テーマに迫っていくか、学生諸君も市民の方々も期待を込めてじっくり味わって頂きたい。

(教養総合企画委員会委員長 金子 肇)

## 上海生活記

金 子 肇



朝6時起床。出勤ラッシュに引っかけられないよう、7時過ぎには娘たちをタクシーに乗せて日本人学校まで送る。そのままタクシーを駆って上海市档案馆(公文書館)近くの「星巴克」(スターバックス)に直行、一杯15元(約225円)のアメリカンで1時間以上ねばってから、9時に開館する档案馆へと向かう。

档案馆では短い昼食を挟んで档案資料と格闘し、午後2時から3時には娘たちを迎えにバスで日本人学校へと急ぐ。それから、学校近くのスーパーで夕飯のおかずなどを買いタクシーで帰宅する。

以上が、上海における私の日課だった。けれども、これは「非典」(SARS)の脅威が去った後のもの。SARSが流行したときは、私を受け入れてくれた華東師範大学から「上海を出るな、人の多いところに行くな」という勧告があり、とても資料調査どころではなかった。各メディアは身の消毒とマスクの着用をしきりに訴えていたが、消毒液やマスクはいつも売り切れ状態。発熱するとSARS感染の疑いがあるため、市政府の指定した病院に行かねばならず、おちおち風邪を引くわけにもいかない。SARSの不安が去り、私の生活が上のようなサイクルに落ち着いたので、6月中旬以降のことだった。

華師大の友人は、私が子供の送迎をしていると聞くと、「中国のお父さんと同じだね。ご苦労様!」とよく冷やかす半分に言ったものだ。たしかに、父親(あるいは母親)が、子供をスクーターや自転車の荷台に乗せ学校に送っていく姿は、上海の朝の日常的な風景である。日本の感覚では、タクシーで子供を送迎するのは贅沢なようだけれど、中国のタクシー料金はとても安い。私たちの住む金沙江路から日本人学校のある虹梅路までは、タクシーで往復40~50分はかかるのだが、それでもタクシー代は50元(約750円)くらいですんでしまう。

上海では、しばしば物事の落差の大きさに驚かされる。たとえば華師大近辺の安レストランでは、70元(約1,000円)も出せば、家族4人が満腹になるだけの中華料理を注文できる。そうかと思えば、外国人や金持ち中国人が出入りする南京西路の上海商城(ポートマン・リッツ・カールトン)に行くと、4人分の英国式ティーセットを注文しただけで軽く1,000元(約15,000円)はとられる。食べ物ばかりではない。浦东新区に代表される近未来都市のような景観もあれば、昔ながらの汚れた「里弄」(路地裏)に出くわすこともある。人々の生活水準は、上は成功した実業家から下は「民工」(農民出稼労働者)に至るまで、文字通りピンからキリまでである。

共産党の指導下、「資本主義の精神」をもっとも体現する都市上海は、2010年の万博開催に向けて発展の速度をさらに加速させようとしている。しかし、そこでは、社会保障制度の充実や生活水準の底上げ、さらには環境保護など、「老百姓」(庶民)の生活に関わる様々な問題が、否応なしに突きつけられてくるだろう。現在、共産党は、これまでの経済成長一辺倒の政策を転換しようとしている。われわれも、「老百姓」の目線から、上海の今後の発展を見守っていく必要があるように思う。

## 卒業生便り

## 笑顔大切に

藤 村 なぎさ



下関市立大学を卒業して3年が経とうとしています。学生の頃「自分にとっていちばんやりがいを見いだせる職業は何だろうか」と悩みぬいたあげく、やはり私は以前より興味のあった金融業を選択し、銀行員として社会人のスタートを切りました。

現在、山口銀行山の田支店で窓口業務を担当しており、日々多くのお客様と接する機会をいただいています。接客を通してお客様から学ばせていただくことが多くあり、多くの方々との出会いが私の財産となっています。もちろん銀行はサービス業ですから、お客様に満足して帰っていただけるように自分自身も向上しようと日々邁進しています。お客様とコミュニケーションをとる中で大切なのは、やはり笑顔と思いやりだと思います。あたりまえのサービスにプラスして笑顔や気づかいの一言を添えただけでかなり印象が違ってきます。これは、お客様に限らず、職場で友人とでも人とコミュニケーションをとる中で大切な事です。笑顔が人間関係をスムーズにする事もあると思います。

学生のみなさんも近いうちに、社会人となるのですから今のうちから笑顔大切に日々過ごされる事をおすすめいたします。

また、私も社会人になってあらためて感じましたが、学生のうちは自由な時間が多く取れます。今のうちにできる事、興味のある事にチャレンジしてみるのがよいと思います。私も学生時代にチャレンジのつもりで中国青島大学に短期留学した事がありましたが、この経験が自分の視野や経験を広げるきっかけになったと引率していただいた先生やあちらでお世話になった方々に感謝するばかりです。社会人となり自由な時間は限られていますが、今でも時間が許せば各地を旅して視野を広げていくことを私は楽しみにしています。こうした限られた時間を充実したものにする事で心にもゆとりが生まれ、ひいては素敵な笑顔がおのずとつくられるのではないのでしょうか。

## 窓口より

## ◎ 図書館

1日平均利用者数

| 年度   | 平日  | 土曜 | 日曜 |
|------|-----|----|----|
| 14年度 | 291 | 95 | 96 |
| 15年度 | 268 | 87 | 90 |

夜間平均利用者数

| 時刻  | 14年度 | 15年度 |
|-----|------|------|
| 19時 | 16   | 21   |
| 20時 | 13   | 16   |
| 21時 | 8    | 10   |

平日は21時30分まで開館しています。土曜・日曜も開館しています。図書の返却期限を厳守して下さい。

## ◎ 学生部

後期分授業料の減免及び分納の申請受付期間は、7月1日から9月15日です。

日本人は働きすぎとも言われており、ストレスの多い現代社会ではありますが、自分のなかで大切な事、楽しめる事を見つけ、社会人になってからも仕事と趣味を上手く両立できればそれが理想的だと思います。私もいつも笑顔と思いやりを大切に、気づかいのできる女性でありたいと思っています。

## 教員著作目録

(2003年4月～2004年4月)

内山浩道：『通訳理論研究』日本通訳学会編『通訳理論研究』論集編集委員会、2004.3

衛藤古則：(共著)山崎英則編『教育実習ガイダンス』東信堂、2003.4、(共著)山崎英則編『教育用語辞典』ミネルヴァ書房、2003.6

小笠原正志：(共著)日本健康心理学会編『健康教育概論』実務教育出版、2003.9

加来和典：(共著)辻・船津編著エイジングの社会心理学』北樹出版、2003.6、(共著)井上眞理子他編著『社会病理学講座2 欲望社会——マクロ社会の病理』学文社、2003.10

木村健二：(共編著)『戦時下アジアの日本経済団体』日本経済評論社、2004.2

武井清幹：(共著)山田留里子監修『3級(中国語検定資格試験対策・攻略シリーズ2)』駿河台出版社、2003.12、(共著)山田留里子監修『4級(中国語検定資格試験対策・攻略シリーズ3)』駿河台出版社、2003.12

高嶋正晴：(共著)『関門地域研究』第13号、関門地域共同研究会、2004.3

田中裕美子：(共著)北九州市立男女共同参画センター・ムーヴ編『ジェンダー・白書2 女性と労働』明石書店、2004.3、(共著)橋本篤孝・古橋エツ子編集代表『介護・医療・福祉小辞典』法律文化社、2004.3

丹下 榮：(共著)『ヨーロッパ中世世界の動態像——史料と理論の対話——』九州大学出版会、2004.3

平岡昭利：(編著)『離島研究』海青社、2003.5、(共著)砺波市立砺波散村地域研究所編『21世紀砺波散村の居住環境』(同研究所)、2004.2、(共著)学術文献刊行会編『日本史学年次別論文集』朋文出版、2004.3

山田留里子：(単著)『アスペクトをあらわす現代中国語方向動詞“起来”を中心とした日本語への対応』北京大学出版社、2003.10、(監修)『4級(中国語検定資格試験対策・攻略シリーズ3)』駿河台出版社、2003.12、(監修)『3級(中国語検定資格試験対策・攻略シリーズ2)』駿河台出版社、2003.12、(監修)『三級作文(中国語検定資格試験対策・攻略シリーズ4)』駿河台出版社、2004.3

山本興治：(共著)日本貿易振興機構アジア経済研究所他『東アジア都市会議報告書I』(日本編)2004.3、(共著)『関門地域研究』第13号、2004.3

## ◎『関門地域研究』第13号刊行

本学の産業文化研究所と北九州市立大学・産業社会研究所による「関門地域共同研究会」の年次報告書である「関門地域研究」の第13号が刊行された。「関門地域の国際(インバウンド)観光振興——韓国編——」および「関門地域のベンチャー企業創出・育成に向けた調査研究」の二部構成。報告会が、6月25日(金)、海峽メッセ801会議室で午後1時半から開かれる。

## 16 年度予算

大学の平成 16 年度予算は、12 億 5,419 万 5 千円で前年度比 3,754 万 1 千円の減額となりました。

前年度と違った新たな内容としては、

- ・中国青島大学との共同研究に係る費用を計上しています。
- ・健康相談室の心理カウンセラー（嘱託）の勤務日数を増やしています。

なお、業務別内訳は次表のとおりです。

平成 15・16 年度業務別予算

(単位：千円)

| 区 分               | 平成15年度    | 平成16年度    |
|-------------------|-----------|-----------|
| 一般管理業務            | 1,039,798 | 1,024,920 |
| 教員研究業務            | 42,876    | 44,467    |
| 教務業務              | 53,713    | 56,195    |
| 大学院教務業務           | 6,896     | 8,136     |
| 大学入試センター試験業務      | 6,279     | 6,613     |
| 学外入学試験業務          | 6,557     | 6,614     |
| 厚生補導業務            | 5,661     | 6,843     |
| 留学生支援業務           | 6,362     | 6,347     |
| 附属図書館業務           | 47,758    | 47,753    |
| ネットワーク・情報教育業務     | 31,416    | 31,119    |
| 大学学務事務電算化業務       | 8,897     | 9,316     |
| 附属産業文化研究所業務       | 1,439     | 1,438     |
| 小 計               | 1,257,652 | 1,249,761 |
| 市民大学講座業務          | 1,374     | 1,374     |
| 関門地域研究業務          | 3,000     | 3,000     |
| 大学整備推進事業(体育館建設事業) | 29,650    | —         |
| 合 計               | 1,291,676 | 1,254,135 |

## 教職員異動一覧

## 新任教職員

| 氏 名        | 担当科目  | 前 任     | 着任年月日    |
|------------|-------|---------|----------|
| 堀内隆治 学長    |       |         | H.16.4.1 |
| 松田潤治 教授    | 会計学原理 | 中村学園大学  | H.16.4.1 |
| 松本義之 助教授   | 経営情報論 | 東 和 大 学 | H.16.4.1 |
| 溝辺彰 講師     | 商 法   |         | H.16.4.1 |
| 張淑玲 常勤嘱託講師 | 中 国 語 | 青 島 大 学 | H.16.4.1 |
| 植田泰史 事務局長  |       | 観光産業部長  | H.16.4.1 |

## 異動教職員

| 氏 名         | 担当科目      | 異 動 先      | 異動年月日    |
|-------------|-----------|------------|----------|
| 財部忠夫 教授     | 経 営 情 報 論 | 中村学園大学     | H.16.4.1 |
| 金尾敏寛 教授     | ミクロ経済学    | 阪 南 大 学    | H.16.4.1 |
| G.チャイキン 助教授 | 国際関係論     | クイーンズランド大学 | H.16.4.1 |
| 于華 常勤嘱託講師   | 中 国 語     | 青 島 大 学    | H.16.4.1 |
| 徐修徳 研究員     |           | 青 島 大 学    | H.16.4.1 |
| 正村豊 事務局長    |           | 議会事務局長     | H.16.4.1 |

## 退職教職員

| 氏 名     | 退職理由 | 異動年月日     |
|---------|------|-----------|
| 下山房雄 学長 | 任期満了 | H.16.3.31 |
| 小林英治 教授 | 定年   | H.16.3.31 |

## 行 事 記 録

(2004 年 1 月～5 月)

- 1 月 5 日(月) 公務始め  
 7 日(水) 授業開始  
 17 日(土) 大学入試センター試験(～1/18)  
 24 日(土) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試  
 28 日(水) 秋学期補講(～1/30)  
 30 日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試合格発表  
 2 月 3 日(月) 秋学期(後期)試験開始(～2/13)  
 25 日(水) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)  
 3 月 5 日(金) 一般選抜前期日程入試合格発表  
 8 日(月) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)  
 9 日(火) 一般選抜前期日程入学手続開始(～3/15)

- 14 日(金) 修士論文発表会  
 22 日(水) 一般選抜中期日程・大学院入試合格発表  
 23 日(木) 一般選抜中期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)・大学院入試入学手続開始(～3/27)  
 25 日(土) 卒業式  
 4 月 1 日(水) 春季休業開始(～4/7)  
 8 日(水) 入学式  
 9 日(金) オリエンテーション 大学院オリエンテーション  
 健康診断(～4/16)  
 12 日(月) 春学期(前期)授業開始  
 19 日(月) 履修届提出締切  
 5 月 6 日(水) 履修確認(～5/7)  
 7 日(金) 留学生歓迎会

## 平成 16 年度年間行事予定

(2004 年 6 月～2005 年 3 月)

- 6 月 1 日(火) 開学記念日  
 10 日(水) 国家公務員ガイダンス(人事院中国事務局)  
 17 日(水) 第 1 回就職ガイダンス  
 24 日(水) 入試説明会  
 7 月 9 日(金) 春学期(前期)試験時間割発表  
 16 日(金) 春学期(前期)補講(～7/21)  
 18 日(日) 夏季集中講義開始  
 23 日(金) 夏季休業開始(～8/31)  
 31 日(土) オープンキャンパス  
 9 月 1 日(水) 春学期(前期)試験開始(～9/14)  
 18 日(土) 大学院入試(一次)  
 27 日(火) 大学院入試(一次)合格発表  
 中旬 第 2 回就職ガイダンス  
 10 月 4 日(月) 秋学期(後期)授業開始  
 履修届提出締切(～10/12)  
 大学院入学手続開始(～10/8)  
 29 日(金) 大学祭(前夜祭)(～11/1)  
 11 月 20 日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試  
 29 日(火) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試合格発表  
 中旬 第 3 回就職ガイダンス  
 12 月 25 日(土) 冬季休業開始(～1/7)  
 冬季集中講義開始  
 28 日(火) 公務納め  
 1 月 4 日(火) 公務初め  
 15 日(土) 大学入試センター試験(～1/16)  
 22 日(土) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試  
 25 日(火) 秋学期(後期)試験時間割発表  
 26 日(水) 秋学期(後期)補講(～1/28)  
 28 日(金) 特別選抜(中国引揚・留学生)入試合格発表  
 2 月 2 日(水) 秋学期(後期)試験開始(～2/15)  
 25 日(金) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)  
 中旬 第 4 回就職ガイダンス  
 3 月 7 日(火) 一般選抜前期日程入試合格発表  
 8 日(火) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)  
 9 日(水) 一般選抜前期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)入学手続開始(～3/15)  
 12 日(土) 大学院入試(二次)(欠員が生じた場合)  
 22 日(火) 一般選抜中期日程  
 23 日(水) 一般選抜中期日程(～3/27)  
 25 日(金) 卒業式